

第4回 神戸市立定時制高校のあり方検討委員会 議事要旨

1. 日 時：令和2年2月5日（水）13：30～15：30

2. 場 所：神戸市総合教育センター701号会議室

3. 出席委員：8名

4. 内 容

（1）神戸市立定時制高校の今後のあり方及び方向性の検討について

① 報告書の構成等について検討

② 柱建てについては、前回の4本柱から、新たに「教育活動面の充実」及び「教育制度面の拡充」の2本柱に変更することで決定した。

③ 記載内容については、基本的に第3回検討資料のとおりとすることで決定した。

<質疑・意見等>

- ・「教育活動の充実」の1項目「外国にルーツを持つ生徒への支援」だけが、対象を限定しているので、項目の整理が必要ではないか。
- ・「外国にルーツをもつ生徒」という項目がなくなるのであれば、「学習支援」項目を例えば「日本語支援」と「教科支援」に分けたほうがイメージしやすいのではないか。
- ・「教育制度の拡充」の1項目「昼間部の拡充」について、表現を再検討したほうがいいのではないか。
- ・夜間部については、倍率等昼間の高校と同じ基準で捉えることのないよう、少し強調しておいたほうがいいのではないか。
- ・居場所づくりというのが学校では大事だと思う。それには「スペース」という意味の「場」と「そこにかかわる人の融合」という意味の「場」の2つの意味があるのではないかと思う。
- ・学習意欲が高い生徒に対する昼間部の拡充や三修制の導入を検討していたが、学び直しの必要性や居場所づくりなどを重視しすぎてしまうと、もともとの課題から遠ざかるのではないか。少し整理する必要があるのではないか。
- ・高校卒業資格の実現が教育の目標として重要視されている。それについて異論はないが、定時制教育における大きな理念があって、そのために高校卒業資格を取得していくのが大事だ、というようなメッセージを出していくことが必要ではないか。
- ・入学してくる生徒たちに、定時制高校の教育活動の中味として「学力と人間関係力」が見えるようなメッセージを出すことが必要ではないか。